

優秀賞

世界の水を守るために

黒部市立清明中学校 二年 川幅 颯人

僕は、朝起きてから一番初めにするのは、水を飲むことだ。その水は、蛇口をひねるだけで出てきて、そのまま飲むことができる。

僕は、小学生の時にインドに住んでいた経験がある。インドの水はとても汚いと言われており、水道水をそのまま飲むのは、とても体に悪く、僕の家では、フィルターを付けていたが、それでも危ないため、水道水は飲まずに、スーパーマーケットなどで買った水を飲んでた。なぜ、インドの水道水を飲んではいけないのかと疑問に思い、いろいろな場所の水の水質を調べたことがある。その結果は、インドの水道水は、あまり水質が良いものではなく、それに比べると、僕たちが住んでいる黒部市の井戸水は、とてもきれいな水だということがわかり、黒部市のおいしい水のすごさを知ったと同時に、きれいな水が簡単に飲めない場所があるということが分かった。でも、今は黒部市に住んでいるし、自分には関係のないことだと思っていたが、水のことについて、インターネットで調べてみると、僕たちが使える水は、地球上の水のほんのわずかしが使うことができず、このまま使っていくと使用できる水の量は、どんどん減ってしまうことが分かった。その理由としては、地球温暖化によって干ばつや洪水などが増え、環境が大きく変わることや、安定した水の確保ができない可能性があるからだろう。他にも、人口の増加により、水の需要量に対して水が不足していたり、産業の発展により、水資源が汚染され、使用できる水の量が減っていたりするなど世界中で様々な問題があることが分かった。そこで、水を守るために自分たちができることは何かないのかと思い、自分たちでもできることを調べた。調べた結果としては、家庭での節水、生活排水対策などがあげられ、節水の具体例は、シャワーなどはこまめに開け閉めをする、洗濯はまとめ洗いをする、トイレで大小レバーを使い分けるなどがあった。生活排水対策の具体例は、調理くず

や、お風呂場での髪の毛などは、流さないようにする、洗剤やシャンプーは適切な量のみ使うなど、家庭でできることは、僕が思っている以上にたくさんあった。僕は、家で水を出しっぱなしすることや、シャンプーなどをたくさん使ってしまうことがよくあるので、直したいと思った。また、いくつか実践できていないものがあるので、実践したいと思った。自分たちの生活の水を少しでも守る方法は知れたが、人口が増えることなど以前に元からきれいな水が行き届いていない場所にも、きれいな水が行き届くようになるために僕たちができることがないか疑問に思い、調べることにした。調べて分かったことは、主に水問題に取り組む団体に支援や寄付をすることだ。僕は、インドで服も着ずにたまにしかこない給水車で体を洗う子供たちをこの目で見てきたからこそ、そんな子供たちを救いたいと思ひ、実際に募金をしてみた。高い金額ではなかったけれど、水問題で悩んでいる人や、苦しんでいる人の少しでも役に立ちたいと思ひ募金をした。

僕は、今まで水問題のことに對して無関心だったが過去に自分がした経験や見たことを振り返ったり、調べてみると、世界のいろいろなところで水問題が起こっていることを知れた。能登半島地震では、長い期間で断水が発生し、僕たちは、水がないと簡単には、生活できないということや深く知るきっかけとなった。このように、僕たちの生活は、水が深く関係していて、その水を絶やさないためには一人一人が小さなことを少しずつ続けていく必要がある。水問題は簡単になくならないかもしれないが、みな水問題のことについて意識を持ち、行動していくことでいつかは水問題がなくなっしてほしいと願っている。